

特集

晩秋のクロを考える



南のつり
アドバイザ、
野間辰美

皆さんクロ釣りに行かれましたか？水温もだいぶ下がって21度前後でクロ釣りの適水温です。今年には海水温の下降状態がよく、例年よりクロが早くから釣れている感じがします。エサ盗りも少しく減って来ていて、釣り易くなっていると思います。さて、11月後半から12月の年末にかけては、案外大型のクロが釣れるのを、ご存知でしょうか。1月から2月は、確かに乗っ込みの大型クロが釣れますが、年末にかけてのこれからの良型が動き出し始め、釣れて来ます。今回は、この年末に釣れるクロ（晩秋クロ）をターゲットにいろいろ考えてみようと思います。

エサ盗り対策

これからの時期、水温が下降傾向にあるので、エサ盗りは比較的小さくなり、釣りやすくなってくると思います。しかし、エサ盗りはいなくなることはありません。むしろ、水温が下がって、エサ盗りの層が深くなり、クロと同じタナに居つくようになれば、それはそれで難しくなると思ってください。また、ポイント的にも、マキエサが溜りやすい所に、エサ盗りが寄ってしまうこともあり、「事前に寄せて、沖を釣る。」という秋磯のエサ盗り対策が通用しなくなるのもこれからの時期です。

代表的なエサ盗りは、イスズミ、オヤビッチャ、スズメダイ、カワハギ類、フグ系のキタマクラ

★潮の流れ、方向、速さをマキエサの流れできっちり確認する



等が主なエサ盗りになりません。でも、そんなに悲観することはないです。エサ盗りの動きが鈍くなる分、クロの動きは、適水温で活発になるので、足の速いクロが先にツケエサを見つければ喰ってくれます。私は、このような時は、まず足下にマキエサを入れて、エサ盗りの動き、種類を確認しますが、忘れてならないのが、潮の流れ、方向、速さをマキエサの流れできっちり確認します。これがどこまで行くか、どこでマキエサが溜りやすいか等を大方知ることが出来ます。そして、エサ盗りが溜りやすいというか、どこまで行つて見えなくなるかが分かると、そこがクロのポイントになったり、それから先に

ポイント

寒の時期とは違って、比較のアバウトで、充分釣れると考えられます。クロの代表的なポイントには、泡の帯がある潮目、サラシ、沈み瀬、磯際、潮壁等ありますが、どこでもポイントになり、今の時期は、きっちり狙わなくてもその周辺に仕掛けがあるだけで喰ってきます。これは、クロの遊泳層が広いのと、広範囲に動いて

エサを喰う唯一の季節だからです。秋は、上層のエサを意識して、逆に寒の時期は、動きが鈍くなり、水温の安定しているところからあまり離れようとしません。その中間にある今の時期は、上層から低層まで幅広く泳いで、エサを喰うと考えています。磯場的には、やはり地磯伝いとか、奥まった磯が有効かとは思いますが、この号が出る頃は、沖磯とか、流れがあるところも釣れ出すと思います。水温の高いい秋磯は、どうしても沖磯は、イスズミとか、木ツ葉グロが多くて、釣りづらかったですが、水温が20度前後になりだすと、潮通しのいい沖磯にクロの群れが入って来ます。そうなる地

磯よりも沖磯が良くなってきます。

仕掛け

仕掛けは、狙うポイントで変わりますが、基本的な仕掛けとしては、釣れるクロの大きさで私は決めています。

例えば、35cm前後のクロが釣れている所は、1.5号前後のライン。45cm前後の所は、1・75号。それ以上のサイズが出るところは、2号前後のラインで対応できます。ハリは、グレバリの5号から7号程度。

問題は、ウキ選びですが、ひと口にコレがいいという事はなく、使い慣れているウキがいいでしょう。私は、なるべくウキを見てアワセを入れたいため、基本的に浮いているウキを使うようにしています。とりあえずポイント別の仕掛けを参考にしてください。

特集 晩秋のクロを考える



こいや、
やバイは〜

サラシ(白泡の先端部分周辺)

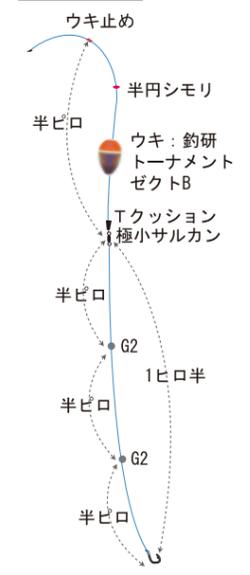


ロッド: がま磯
アテンダーII
1.25-5.3m
道糸: サンライン
ブラックストリーム
マークX 1.75号
ハリス: サンライン
ブラックストリーム
1.75号
リール: DAIWA
トーナメント
ISO-Z競技
2500LBD
ハリ: がまかつ
口太速攻6~7号



※ 道糸をサラシに乗せて、サラシが止る所から糸を直線的に張り、ツケエサを先行させ送り込むようにします。
* オールマイティーで大変重宝する釣研「トーナメントゼクト」。今秋には「トーナメントゼクトS」が新発売!! 両ウキを合せて使えばさらに攻略の幅が広がる!!

磯際、沈み瀬



※ あまり深く入れずに、磯際にまっすぐ落としてやる感じです。沈み瀬の上を釣るときは、ハリスに打っているガン玉を、サルカンのすぐ下まで上げるか、もしくは、はずしてフワフワとエサが落ちるように演出します。

潮目、潮壁、ヨレ



※ 潮目を狙う時は、全遊動で上層~中層をゆっくり探りながら落とす感じです。
※ 潮壁は、潜る潮が速い時は、ブレーキを掛けながら入れ込みます。(指にテンションを掛ける程度)
※ ヨレ部分は、ほったらかしでいいです。糸フケを大目に取り、道糸を張らない方がいいでしょう。ヨレとは、風の強い時などに、潮を押して小さな波を立てせ、潮を寄せ集めてできるポイント。



★基本的な仕掛けは、釣れるクロの大きさで決める

甌島 里周辺 蝶楽丸

瀬渡し・船釣り 船釣り専門船 いおしん丸

定員40名

石鯛・クロ・オナガ... 磯釣り本格シーズン到来!!

出航地 串木野港

串木野 TEL0996-33-1169

船長 石原 民宿 石原荘

